

カレンダー市 2018～あなたにもできる国際協力～実施趣意書

私たちは、長崎大学の学生による国際協力団体、学生国際 NGO BOAT です。学生国際 NGO BOAT は 2004 年 12 月のスリランカ津波被災の際に、学生たちで何かやれることはないか、と考え立ち上がった団体です。当時、実際に部員が現地へと渡り、復興作業や物資の支援などの活動を行いました。活動後は、国内でパネル展を実施し、活動内容の報告を行いました。

また、被災地支援のみならず、発展途上国への支援活動にも積極的に取り組んでおります。支援金は今まで継続して開催してきた「カレンダー市」での収益金です。学生国際 NGO BOAT がカレンダー市を主催させていただくのは、今年度で 12 回目となります。昨年度までの「カレンダー市」の収益金は、「特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN」を通じ、ラオスの「ラオ・フレンズ小児病院」ほかへ寄付させていただきました。一昨年 2015 年 9 月、3 年間の支援の後に、無事開院した小児病院を実際に自分たちの目で見てきました。病院にいる子供たちを見てほっとすると同時に、彼らのほかにも支援を必要としている子供たちがいるはずだと新たな支援先を探そうという声が出てきました。

今年度の新たな支援先を決めるために、今後私たちにできることは何かを整理するための勉強会を開催しました。そこで、これまでの支援先との関連からも支援対象を子供たちに絞り、子供たちにとって重要な教育面を支援するという決意をしました。その後、具体的な支援先と支援内容を決めるため、学生国際 NGO BOAT の部員一人一人が支援先を検討し、支援先候補をプレゼンし、議論した結果、今年度私たち学生国際 NGO BOAT は「特定非営利活動法人虹の種」によって運営されているタイの「虹の学校」を支援先とすることに決定しました。

「虹の学校」とは、タイの首都バンコクから車で約 8 時間、カンチャナブリー県サンクラブリ

一にあります。2009年6月に児童養護兼教育施設を中心としたコミュニティとして生まれました。今回の「カレンダー市」で得た収益金は、この「虹の学校」への寄付金及び、来春に予定している現地での支援活動を行う際の費用として使わせていただこうと考えています。私たち学生国際 NGO BOAT が実際に「虹の学校」を訪れ、生徒たちへの絵や算数の授業の手伝いや、「虹の学校」主催で行われている「ふんどしプロジェクト※」に参加する予定です。

※ふんどしプロジェクト…「タイの貧困地域の子どもたちに教育と仕事を！」を目的に、便秘や冷え性、肩こりの改善、睡眠の質の向上などに効果のあるふんどしを草木染めで作ります。

この「カレンダー市」を通じ、私たち学生国際 NGO BOAT は、身近な国際協力を目指し活動していきます。多くの方にご賛同いただき、恵まれない世界の人々の手助けとなれるよう取り組んでいきます。何卒、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

2017年11月吉日

学生国際 NGO BOAT 「カレンダー市」担当 秋月 冬楓、田上 奈々加

(長崎大学多文化社会学部1年)

お問い合わせ先：E-mail:boatotoiawase@live.jp

学生国際 NGO BOAT ホームページ：<http://ngoboat.jimbo.com>